

家具・建具・じゅう器小売業における荷姿の物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	19~20	店舗内2階のバックルームにて商品の品出し作業に従事していた。脚立を使用しプラスチックの収納商品（10.8kg）を降ろす際、背筋が伸びた状態で商品を持ったことで腰に激痛が走った。	54	50～99
6	18～19	被災者が従業員3名体制で鉄筋300本の積み込み作業をしていたところ、気持ちが焦って一度に沢山の量を積もうとした為、誤って30本束を左足の上に落としてしまい、左足甲の人差し指付け根付近を骨折したものである。	18	30～49
9	11～12	店舗内倉庫ペット用品置き場において、品出し作業を実施、箱が4段積みされた高さ（約180cm）より、箱（約5kg）を取り、台車に乗せようとした際に腰に負荷がかかり痛め、負傷した。	51	100～299

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)